

私立大学図書館協会東地区部会研究部
2017年度第8回運営委員会議事録

日 時：2018年3月9日（金） 14：30～17：00

会 場：聖心女子大学 1号館4階小会議室

出席者：平井久美子（東海大学）、山田和宏（創価大学）、花上真一（聖心女子大学）、
浅尾千夏子（慶應義塾大学）、小川渡（早稲田大学）、武林輝暁（玉川大学）、
佐々木俊介（桜美林大学）

【事務局】新井和之、吉田博貴（成城大学）

【研修委員会委員長】渡邊幸弘（早稲田大学）

欠席者：水津みはる（学習院大学）

議事概要：

会議に先立ち、早稲田大学の鈴木委員より諸事情により委員を交代する旨の報告があり、後任の小川委員が紹介された。

1. 2017年度研究分科会報告大会参加状況及び研究分科会への意見・感想等の集計結果について

資料1に基づき、研究分科会報告大会の参加人数について報告があった。また、アンケート結果から、各分科会の報告が大変充実した内容であったことが確認された。

2. 2017年度オンデマンド研修「図書コース」の実施状況及びアンケートの集計結果について

資料2に基づき、図書コースの実施状況について報告があった。また、アンケートでは大変有意義な内容であったとの感想が多くみられたが、一方で、ディスカッションへの要望や進捗の確認方法、問い合わせ方が分かりにくいなどの指摘もみられたため、次年度に向け調整することが確認された。

3. 2018/2019年度研究分科会会員参加申込状況について

資料3に基づき、各分科会への申し込み状況について報告があった。現在、人数要件を満たしているのは和漢古典籍研究分科会のみと応募状況が芳しくないため、再度、全加盟館宛に案内を送るなど会員の確保に努めることが確認された。

4. 2018年度研修分科会会員参加申込状況について

資料4に基づき、申し込み状況について報告があった。研修分科会についても再度告知を行い、人員確保に努めることが確認された。

5. 2017 年度研究部活動報告及び中間決算について

資料 5 に基づき、研究部の活動報告があり、各事業とも当初の計画通りに行われたことが報告された。また、中間決算についても概ね予定通りの執行であったことが報告された。なお、役員校初年度は残額を次年度繰越金とすることが先日の役員会で了承されたとの説明があった。

6. 2017 年度研修分科会活動報告及び決算報告

資料 6 に基づき、各回の研修内容について報告があった。また、決算内容については、研修費用がある程度の会員数を前提としているため、一定の人数が集まらないと実施が難しくなるとの説明があった。

7. 2018 年度研究部活動計画（案）及び予算（案）について

資料 7 に基づき、活動計画（案）と予算（案）について説明があった。このうち、研究部活動方針については、CMS による運用を前提としたホームページ移行の予算措置が行えなかったことから、「ホームページの安定的な運用」を削除したとの説明があった。

また、予算（案）については、研究会修了後や運営委員・研究分科会代表者合同会議修了後に開催していた意見交換会を実施しないことで予算の圧縮を図ったこと、更に運営事務費については引継ぎ資料の電子化が予算化されていたが、引継ぎ資料そのもの見直しも含め、役員会で方向性を確認する予定であるとの説明があった。

最後に、地域研修、研修分科会、オンデマンド研修について見積書の確認を行った。

8. 2017 年度研修委員会活動報告について

資料 8 に基づき、研修委員会の渡邊委員長より今年度の活動報告が行われ、11 月に実施した研修会の参加状況、研修内容、運営について報告があった。今回は応募者も多く、参加者からも好評で実り多い研修会であったとの説明があった。また、3 月で現研修委員は任期満了となることから、次年度の地域研修については次期委員会で実施に向けた準備を行っていくことが報告された。

9. 次期研修委員（2018/2019 年度）について

資料 9 に基づき、次年度の運営委員と研修委員について報告があった。研修委員会には次々年度の研究部担当理事校にも委員として参加していただくとの説明があった。

10. 2017 年度東地区部会第 2 回役員会について

資料 10 に基づき、2018 年度東地区部会部の活動計画について報告があった。「研究部活動の充実」についてはオンデマンド研修や地域研修の実施と評価を行う予定であること、また、部会総会、館長会、研究講演会の開催についても説明があった。

11. 2018 年度研究講演会の講師と演題について

資料 11 に基づき、講演内容について報告があった。学修支援をテーマに既に講師 2 名からは内諾を得ているが、現在、詳細について調整を行っているとの説明があった。

12. 研究分科会マニュアル 2018 年度版（案）について

資料 12 に基づき、研究分科会マニュアルの改訂について説明があった。主に休会中の代表者について、分科会で招いた講師への謝礼金支払いについて、特別助成金の資金使途変更について、会員の異動や休会によるホームページやメーリングリストの取り扱いについてなどに加筆を行ったとの説明があった。

13. 研究分科会ホームページの移行について

資料 13 に基づき、ホームページ移行に関する見積書の確認を行った。2018 年度は予算の確保が不調に終わったため実施は先送りとなったが、今後も東地区部会全体の問題として、会長校の協力を仰ぎながら実現を目指すことが確認された。

14. 2018 年度私立大学図書館協会スケジュール（案）について

資料 13 に基づき、次年度の行事について確認を行った。運営委員会については日程を確定し、会場については引き続き検討することになった。

15. 運営委員の交替について

資料 15 に基づき、運営委員会名簿の確認を行った。

16. その他

特に無し。

最後に、本日の資料等で、字句や文言等の修正が必要な個所については、研究部担当理事校で修正の後、再度メールで発信する事を確認し、閉会した。

以上